

島根大学附属図書館 年報 2019

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2019

図書館長より

附属図書館長として2年目に入り、図書館が整然と運営されていることを感じ、職員の努力と学生さんの協力のおかげであると、嬉しく思います。今年も、年報という形で、一年の活動を振り返る資料をお届けすることができます。昨年度は、大学図書館学生協働交流シンポジウムや高校生ビブリオバトルなどを島根大学で開催したこと、図書館コンシェルジュの献身的な活動や展示室で地域コミュニティラボの活動など、スムーズに運営されていました。ところが、3月ごろからの新型コロナウイルスの広がり、図書館も対応を迫られ、利用制限、開館時間の変更、イベントの中止など大きく影響を受けています。

新型コロナウイルスが広がってきた時に、改めていろいろなことを考えさせられます。図書館をどう運営するかということは、今も模索しながら進めています。科学的な疑問では、そもそも新型コロナウイルスとはどのようにして発生したのか？その疑問の前にウイルスとは何かということがあるかもしれません。こういう感染症ウイルスが蔓延した時に、人類は過去にどういう対応をしたのか？その答えを教えてくれる書物が図書館にはあります。

一方で、現在進行中の研究に関しては最新の論文を電子ジャーナルで読まないとわかりません。何故新型コロナウイルスは感染力が強いのかを知るためには、新型コロナウイルスの構造を研究している論文を理解する必要があります。日本を含めアジアでの感染者が少ないのは何故なのか。いくつか推定されることはありますが、とても興味深い問題の1つです。これらを理解するためには、電子ジャーナルの情報は欠かせません。

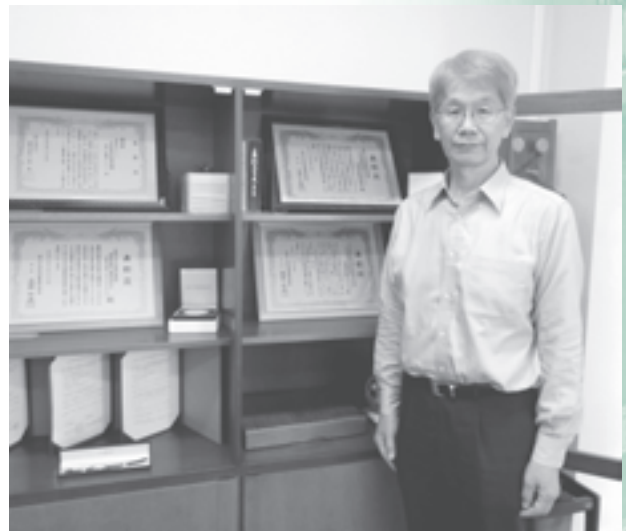
このような最近の話題に限っても、電子ジャーナルは研究の基盤を支える論文を提供してくれますので、非常に重要な情報源です。多くの先生方は図書館を訪れることなく、電子ジャーナルは読まれていると思います。この電子ジャーナルの経費が毎年上昇しています。出版社側が値段を毎年上げてくるのが要因ですが、大学の限られた予算の中では、継続が難しくなっています。これまでに研究された成果や最新の論文が読めなくなるというのは科学の発展のために大きなマイナスです。多くの場合、国が投入した予算の範囲で研究活動がなされているわけですから、それは誰でも読める状況にすることが、本来的な意味であろうと私は考えますが、

そうっていない仕組みは問題です。

話は変わりますが、ユヴァル・ノア・ハラリの代表作に「ホモサピエンス全史」「ホモ・デウス」「21世紀の人類のための21の思考」があります。1作目は図書館で借りて、後の2冊は英語版で読みました。「ホモサピエンス全史」は、人類の歴史を10万年という大きなスパンで捉えている点で、大きな歴史観を提供してくれています。イスラエル人であることの視点が、宗教に関する考えも含め、随所に感じられます。第2作目「ホモ・デウス」は、未来を予想する視点で書かれています。人類は飢餓と疫病と戦争を乗り越えて、永遠の寿命を得て、神を目指していくという考えを述べています。その中で、中心的な技術はAIとバイオテクノロジーだというわけですが、遺伝子の視点から生き物を研究している私からしますと、遺伝子操作で不死に近づくことで、神を目指すということを唱えている点は、かなり無理があると感じます。しかしながら人生100年というプランは現実的な予想として、十分考えられます。人生100年というプランの中では、偉人が考えた知恵を学び、新しい知識を提供する図書館の重要性は高いと思います。

図書館は森羅万象の知識の宝庫として、大学で知を供給する心臓部でありますので、うまく血液が流れていないと大学の機能が低下してしまいます。知識の提供という役割のみならず、教員や学生間の交流の場としても、図書館は、これからも大学にとって、重要な位置付けであることは変わらないでしょう。

皆様の積極的な利用をお待ち申し上げております。



島根大学附属図書館長 川向 誠 (2020年7月)

附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

理念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目標

1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

※2016（平成28）年度から附属図書館は機構から外れ、単独部局となった。

CONTENTS

TOPICS	4
図書館の動向	
・図書館コンシェルジュの活動	8
・地域コミュニティラボ —地域の情報を発信する展示スペース—	10
・社会貢献—学術情報の提供をとおして—	12
・学術情報基盤整備計画と 電子ジャーナル・データベース	14
統 計	
・基本統計	15
・利用者	16
・貸 出	17
・図 書	18
・図書館資料費	19
・電子ジャーナル／データベース	20
・Webサービス	21
・相互協力	22
・講習会／その他	23
その他の記録	24



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
(左から) みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

■しまだい英語多読マラソンを開催 【2019年4月22日～2020年3月31日】

本館において、英語多読図書の利用促進ならびに英語学習の支援を目的とする企画として「しまだい英語多読マラソン」キャンペーンを実施した。

キャンペーンにエントリーした参加者には、読破した多読図書の語数と感想をコメントシートに記入してもらい、シートの提出ごとに一つの景品をプレゼントした。また読破語数を積み重ねた人には10万語ごとに、景品とともに賞状を授与した。

参加者の中には、一年間で100万語を読んだ学生もいた。参加者アンケートでは、「外国語でたくさんの文章を読むことができていい経験になった」や「キャンペーンへの参加が英語学習の励みになった」などの感想があり、参加者の英語学習の支援という目的を達成できた。



■ 実施期間 2019年4月22日(月)～2020年3月31日(火)

■手銭記念館との包括的連携に関する協定を締結 【2019年5月28日】

島根大学と公益財団法人手銭記念館は、5月28日(火)に包括的連携に関する協定を締結した。本学と手銭記念館は、これまで十数年にわたって、同館の所蔵する資料の調査研究、デジタル化、公開等を共同事業として行ってきた。今回の協定は、こうした共同事業の推進、さらに新たな分野での事業の展開を目的として締結された。

協定の締結にあたって、本学の服部泰直学長からは、「これまでの事業を土台に、手銭家に伝わる様々な資料を活用した総合的な研究や本学学生の教育の場としての活用を進め、また、東京オリンピックを来年に控えて増加すると予想される外国人観光客向けの体験型ツアープログラムの開発などに協力したい」、手銭白三郎同記念館理事長からは、「協定によって、大学との結びつきがこれま

でより一層強くなることで、様々な事業が展開されることを期待している」と、それぞれ挨拶があった。



■蔵書リユース市の開催 【2019年6月25日～27日】

6月25日(火)から27日(木)までの3日間、第15回蔵書リユース市を開催した。リユース市は、重複や改版により不用となった廃棄予定図書について、学生や教職員、地域住民が再利用することを目的に、2005年から毎年開催している。

2019年度は約7,000冊を提供し、全体の3割強を販売した。また、新たに「雑誌の無償提供会」(例年は図書館内で開催)を同時開催し、保存年限が過ぎた雑誌や、ビデオ(VHS)等を提供した。

■開催概要

会場：島根大学 松江キャンパス 大学会館 3階 大集会室

価格：1冊100円



■医学図書館カーペット貼り替え 【2019年8月5日～9日】

夏休み期間中の8月5日(木)～9日(月)までの5日間に、施設整備の一環として長年の懸案事項であった医学図書館の2階閲覧室のカーペットの一部貼り替えを行った。カーペットは今までも部分的に貼り替えを行ってきたが、今回貼り替えを行った箇所は、1979年の竣工当初のままとなっていた。貼り替え前はカーペットが剥げて床の表面がむき出しになっていたり、カーペットの糸がほつれてしまい、利用者が閲覧席を利用する際に引っかかってしまうなど、使いづらいだけでなく、危ない面もあった。

貼り替え後は綺麗になり、利用者に安全・快適に利用してもらえる場所となった。



貼り替え前



貼り替え後

■中学生の職場体験受け入れ 【2019年9月、10月】

本館では、9月に島根大学教育学部附属義務教育学校から3日間、10月には松江市立湖南中学校から4日間にわたり、それぞれ職場体験の生徒2名を受け入れた。生徒たちはカウンター業務から図書の発注や受入、図書のラベル貼りなどの資料整備や文献複写の依頼まで、図書館内の多様な業務について担当者から説明を受けた後に、実際に業務を体験することで仕事への理解を深めた。

医学図書館では、9月に出雲市立第二中学校及び第三中学校の生徒をそれぞれ2名ずつ3日間にわたり受け入れた。積極的に図書の配架や装備、館内清掃などの業務に取り組んでくれていた。最終日には3日間の体験の振り返りを兼ねた利用者に向けたポスターの作成と発表を行ってもらった。



■第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムを開催 【2019年9月5日～6日】

本学教養講義室棟1号館を主会場として、第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムを開催した。このシンポジウムは、大学図書館で様々な活動を行っている学生やそれをサポートする教職員が全国から集まり、他団体と交流を行うことを目的として毎年開催している。

第9回は、「ワクワクする図書館をつくろうー“やりたい”を形にー」をテーマとして、まずポスターセッションやワールドカフェで着想を得、ワークショップでそれを実行可能な計画まで練り上げるという方法で行った。

1日目に開会式、活動紹介を目的としたポスターセッション、ワールドカフェ、交流会を行い、2日目にワークショップと島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館の見学を行った。本学の図書館コンシェルジュを含め、全国から24大学28団体、合計116名が参加した。詳細は以下の記事を参照。

- ・「第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムを開催しました」
(<http://shimadai-lib.hatenablog.jp/entry/2019/09/13/114756>)
- ・「第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムで実施したワークショップ等の内容および検討過程に関する報告」
(<http://ir.lib.shimane-u.ac.jp/49521>)

■開催概要

期間：2019年9月5日(木)～6日(金)

会場：島根大学 教養講義室棟 1号館ほか



■シンポジウム「資料から再発見する江戸の底力」を開催 【2019年9月14日】

このシンポジウムは、本学と公益財団法人手銭記念館が6月に締結した包括連携協定(P.4参照)を記念して、山陰研究センター、附属図書館、手銭記念館の主催でおこなった。当日は、三者の10年以上にわたる共同プロジェクトの成果として、江戸時代の出雲における文芸活動や、手銭家所蔵資料の意義についての基調講演、報告、パネルディスカッション等がおこなわれ、50名の参加があった。

■開催概要

日時：2019年9月14日(土) 13:15～17:00

会場：島根大学 法文学部棟階 多目的室1

司会：野本瑠美 講演：田中則雄

報告：久保田啓一／伊藤善隆／小林准士

パネルディスカッション：

田中則雄／久保田啓一／伊藤善隆／小林准士／佐々木杏里



■デジタルアーカイブのライセンスを改訂 【2019年9月30日】

島根大学附属図書館デジタルアーカイブでは、搭載している画像の二次利用ライセンスとしてクリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)を適用してきたが、2019年9月30日(月)から新しい二次利用ライセンスを適用した。

新しいライセンスは、ライセンスの条文ページと、このページへのリンクになっているオリジナルのライセンスロゴで構成されている。ライセンス条文ページでは、先頭部分に各種利用条件の概要を表示し、その下にそれぞれの条件の詳細と問い合わせ先を表示している。ライセンスロゴは、原本の所有者や画像の公開範囲、著作権の状態による違いによって異なるロゴがコンテンツの閲覧画面や検索結果一覧画面で表示されている。

詳細については右記のページを参照。

島根大学附属図書館デジタルアーカイブ > 利用案内
(https://da.lib.shimane-u.ac.jp/content/ja/page/how_to_use)

カレントアウェアネス-E

「島根大学附属図書館デジタルアーカイブのライセンスの改定」

(<https://current.ndl.go.jp/e2221>)



新しいライセンスロゴの例

■外国人留学生による出雲文化体験ツアー 【2019年11月11日】

国際交流センター、法文学部山陰研究センターと共同で、外国人留学生を対象とする手銭記念館(出雲市大社町)のツアーを、11月11日(月)に開催した。このツアーは、「島大グローバル月間」(2019年11月に全学で実施)のイベントの一環として企画され、国際交流センターの教員の引率で、5か国5名の留学生が参加した。

参加者たちは、同記念館の展示鑑賞、美術品の保管箱の紐かけ体験、刀装具を手にとった鑑賞などを行った後、手銭家の茶席で和菓子と抹茶を楽しんだ。参加者たちは、終始くつろいだ雰囲気、「今日の体験は非常に興

味深い体験であり、母国に帰ったのちにこの体験を伝えたい」といった感想が聞かれた。



■英語論文投稿セミナー 【2019年11月14日、12月11日】

島根大学研究推進室と共同で、11月14日(木)、12月11日(水)の二回にわたり英語論文投稿セミナーを開催した。それぞれ、クラリベイト・アナリティクス社、エルゼビア・ジャパン社から講師を招き、松江・出雲キャンパスの各会場で、学部学生から教員まで幅広い参加者が見られた。

参加者アンケートでは、96%の参加者から「満足した」、100%の参加者から「わかりやすかった」という回答があるなど、好評であった。

また、このセミナーは文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」事業の一環として、他機関の女性研究者の参加も可能とし、島根県立大学からの参加があった。



■開催概要

〈第1回〉論文作成・投稿をよりスムーズに

〈第2回〉アクセプトされやすい英語論文とは

■図書情報システムの更新 【2020年2月17日】

図書情報システムの更新に伴い、新OPACシステムが2020年2月17日(月)から稼働した。

新しいOPACでは、タグ分類機能や、書評を投稿・公開できる機能が追加され、ユーザポータル機能が強化された。

タグ分類機能は、ユーザポータル(MyOPAC)にログインしたユーザがOPAC上の図書について自由にタグを付けて分類できる機能となっている。タグは、書誌詳細画

面の右部に表示され、ログインしている本人にだけタグが表示される機能となっている。

書評の投稿・公開機能は、MyOPACユーザが投稿した書評について、図書館が許可したものを書誌詳細画面の右部に表示する機能となっている。

■デジタルアーカイブシステムの改修 【2020年3月10日】

島根大学附属図書館デジタルアーカイブの改修を行い、2020年3月10日(火)より以下の2つの機能が追加された。

・認証コンテンツ搭載機能

認証コンテンツとは、一般への公開になじまない資料を、ID・パスワードによる認証を経て利用できるようなものであり、システムの改修完了と同時にデジタルアーカイブに搭載した。

本システムの認証コンテンツは、IIIF Authentication API 1.0に準拠した方式で実装しており、国内では先進的な事例となっている。

・翻刻支援機能

デジタル化した資料の翻刻を支援する機能であり、画像を表示しながら翻刻文を入力・保存できるほか、授業での利用を想定し、教員アカウント(校閲者)と学生アカウント(翻刻者)に分けて権限を設定できる機能がある。

この機能により、研究グループのメンバーによる共同翻刻作業への活用や、授業での資料解読実習への活用が見込まれる。

参考：

「デジタルアーカイブに認証コンテンツを搭載しました」
(図書館からのお知らせ)

(<https://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/2020031000013/>)

■ 図書館コンシェルジュの活動

「図書館コンシェルジュ」とは、学生スタッフが職員と協働し、附属図書館におけるピアサポートを進めるとともに、学生の視点によるサービスの改善などを目的とする取り組みである。こうした取り組みは広く学生協働と呼ばれ、本学では、本館において、大学教育センターの協力のもと全学のピアサポートプログラム(正課PSP)の一環として、2010年度より実施している。

活動開始から10年目の節目となる2019年度は、前年度からの経験者18名を含む27名が図書館コンシェルジュとして活動した。例年通り「自主企画活動」および「利用サポート活動」の二つを柱として活動を行いながら、第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムの主管校の一角として運営に携わった。

1. 基本的な活動

(1) 利用サポート活動

利用サポート活動は、主にサービスカウンターにおいて図書館の使い方や資料の探し方など利用者からの質問等に対応するもので、正課PSPによる予算支援を受けている。

コンシェルジュが対応することで、図書館の利用者、特に学生に対して質問しやすい環境を提供するとともに、コンシェルジュの学生自身にとっても、自身の知識を増やしスキルを高める機会となっている。実施に当たっては、一定レベルのサービスが提供できるよう、レファレンス研修を行っている。

月	活動可能日数	(A) 活動可能コマ数	(B) 活動したコマ数	実施率(B/A)	(C) 質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)
4月	15	57	36	63.2%	72	2.0
5月	19	72	63	87.5%	72	1.1
6月	20	76	61	80.3%	47	0.8
7月	20	76	41	53.9%	39	1.0
11月	20	52	41	78.8%	43	1.0
12月	17	45	35	77.8%	33	0.9
1月	7	17	12	70.6%	9	0.8
合計	118	395	289	73.2%	315	1.1

利用サポート実施状況 2019年度

(2) 自主企画活動

自主企画活動とは、コンシェルジュが自主的に企画を立案し実行するものであるが、必要に応じて職員が適宜アドバイスやサポートを行う。全体を「イベントチーム」「展示・グッズチーム」「広報チーム」の3つのチームに分け、それぞれのチームの特性に応じた企画を実施している。

2019年の企画内容は、次のとおりである。

〈イベントチーム〉

- ・ラーコモカフェの開催 (6回)
- ・ABD (アクティブ・ブック・ダイアログ) の開催 (4回)
- ・ただ日本語で話すだけ (4月～1月)
- ・ライブレター (投書箱) の運用
- ・Twitter (アカウント: @shimat_con) の運用

- ・イベント参加ポイントカード配布
- ・オープンキャンパス企画 (8月1日～2日)

〈展示・グッズチーム〉

- ・ブック★コンパス (図書のテーマ展示) (3回)
- ・ブックカバー作成・設置
- ・館内装飾
- ・読書の木 (利用者参加型企画) (4回)

〈広報チーム〉

- ・季刊広報誌LiMeの編集・発行 (3回)
- ・LiMeボード (手書きホワイトボード) による広報 (随時)

〈チーム横断企画〉

- ・クロスワードパズル配布 (新入生歓迎企画)
- ・ランチミーティング (4月～7月)
- ・松江市立中央図書館の団体貸出図書の選書・展示 (5回)

〈他団体との協働〉

- ・朗読会 (6月9日) 主催: 島根大学放送サークル

2. 第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

このシンポジウムは、全国の大学図書館で活動する学生協働スタッフが各大学の取り組みを共有し、交流する場として2011年より毎年開催されている。2019年度は「ワクワクする図書館をつくろう—“やりたい”を形に—」をテーマに、島根大学および島根県立大学・島根県立大学短期大学部を会場として9月5日(木)～6日(金)に行われ、24大学から116名が参加した。島根大学図書館コンシェルジュからは、学生9名が参加した。

主管校として運営を行うにあたって、第9回シンポジウムの方向性を決める段階で学生と職員を交えた意見交換の場を設けた。またシンポジウム本番に先立ち、7月6日(土)には共に主管校である島根県立大学・島根県立大学短期大学部の学生図書委員会と図書館コンシェルジュ共同で事前リハーサルを行った。



シンポジウムリハーサルの様子

シンポジウム当日は島根大学図書館コンシェルジュ、島根県立大学学生図書委員会の学生もスタッフとして運営に関わった。開会式では島根大学服部学長が壇上に入り、参加者に向けて今回のシンポジウムへの参加を今後の学生協働の活動に活かしてほしいと挨拶があった。



ワールドカフェの様子

2日目は「“やりたいこと”を形にしよう!」というテーマでワークショップを行った。ワークショップの最後には今回のシンポジウムの集大成として、グループワークを通して各グループが企画を練り上げた「ワクワクする企画」を全体に向けて発表した。



シンポジウム受付の様子

1日目はまずポスターセッションを行い、当日までに各団体が作成したポスターを貼りだして活動内容の紹介を行った。次に「ワクワクする図書館をつくるために、あなたは何をしますか?」というテーマでワールドカフェを行った。ワールドカフェ終了後は附属図書館本館の自由見学時間を設け、夜は学生食堂「ニコラ」で交流会を行い、参加者同士の交流を深めた。



ワークショップの様子

閉会式では、梅光学院大学の吉光紀行先生から講評をいただいた。その後、希望者は島根県立大学・島根県立大学短期大学部へ移動し、2019年春に新築された図書館と絵本の図書館「おはなしレストランライブラリー」を見学した。

3. その他の活動

(1) ビブリオバトルの運営

10月20日(日)に島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパスで行われた全国大学ビブリオバトル2019地区予選の運営に関わった。

また、12月14日(土)には高校ビブリオバトル島根県大会の運営にも参加した。

(2) しまね大交流会への参加

11月16日(土)、くにびきメッセ大展示場にて「しまね大交流会」が開催され、コンシェルジュがポスター展示と活動紹介のプレゼンテーションを行った。このイベントはオールしまねCOC+事業の一環として行われており、コンシェルジュは毎年参加している。



ポスターセッションの様子

■ 地域コミュニティラボ —地域の情報を発信する展示スペース—

地域コミュニティラボは、オールしまねCOC+事業の「しまねクリエイティブラボネットワーク」の一つとして、附属図書館本館の展示室を利用して2017年1月に開設したものである。地域では、地元企業や行政機関、NPO法人など様々な団体が多彩な活動を行っており、これらの団体の活動状況や成果を、学生や大学を訪れた市民が大学内において身近に触れることができる場が地域コミュニティラボである。ラボの展示をとおして、本学の学生・教職員や市民がこれまで以上に地域に目を向けて、地元の各種の団体の活動に関心をもつきっかけとなり、活動を身近に知ってもらうことを目的としている。2019年度は、6回のラボ展示を行い、延べ3,072人の来場者があった。以下、6回の展示を概観する。

1. DEEP! DEEP! DEEP! シマネケンケイ — 警察業務のDEEPな世界 —

(出展者：島根県警察)

(1) 期間 2019年5月22日(水)～6月5日(水)

(2) 内容

災害救助からサイバー犯罪対策、科学捜査、犯罪者プロファイリング、要人SPまで、様々な分野の先端技術・最新研究を駆使する「警察」の世界が、解説パネルなどを使って紹介された。

あわせて、若手やベテラン警察官によるギャラリートーク(5/22、5/29)も開催され、なかなか窺い知れない警察業務の裏側を聞く貴重な機会となった。



2. 命の絆展 — 被害者も加害者も出さない街づくり —

(出展者：江角由利子氏・島根県警察本部・
島根被害者サポートセンター)

(1) 期間 2019年6月29日(土)～8月5日(月)

(2) 内容

交通事故や犯罪に巻き込まれ亡くなった方や残された家族の思いをつづったパネルや関連書籍の展示を通して、被害者も加害者も出さない社会の実現を来場者とともに考えることを目的に実施された。

等身大の人形パネルに貼られた写真や遺品、家族の思いからは、生の半ばで命を絶たれた無念さが伝わってくるものであった。



3. 山陰四大学合同写真展

(出展者：山陰四大学合同写真展実行委員会)

(1) 期間 2019年8月29日(木)～9月6日(金)

(2) 内容

島根大学、島根県立大学(松江)、鳥取大学、鳥取環境大学の山陰四大学の写真部による合同企画として実施された。

四季の自然、町並みなどの日常風景から、学生ならではの目線で切り取られた様々な写真が展示され、来館者の目を引き付けていた。

4. 「木の匠 — 第2回木匠展 in 島根大学 —」

(出展者：木匠会)

(1) 期間 2019年10月17日(木)～25日(金)

(2) 内容

島根県内の木工芸の伝統技術を継承し、技の研鑽のために結成されたグループ「木匠会」のメンバーによる作品展示で、2017年に次いで2度目の開催となった。期間中にはギャラリートークも開催され、作家自身による作品解説が行われた。

作品解説では、一つ一つの作品に使われている技法や素材、作品に込められている作者の思いが丁寧に解説された。また、道具についての説明が行われ、カンナやノミなどの木工の道具は、買ってきたものをそのまま使うのではなく、自分の作品製作に合わせて、独自に改良を加えたものを使うなどの説明があり、繊細な加工仕上げの裏では目に見えない努力が払われていることが理解される解説であった。

参加者は、同会の正木会長の指導のもと、簡単な組み木を作る実習にも取り組み、木工の基礎的な技術にも触れた。



5. 守りたい島根の自然 — 環境編・変化と自然保護 —

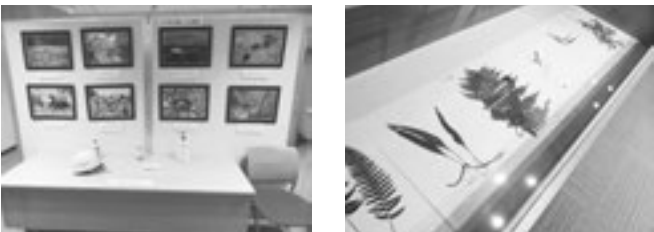
(出展者：島根自然保護協会)

(1) 期間 2019年11月16日(土)～28日(木)

(2) 内容

島根県自然保護協会は、発足時より本学生物資源科学部の研究者らと市民が共に活動している組織で、県内の自然環境の保護・保全を図り、次世代へ伝えていくための活動を行っている。

本展は、同協会の創立30周年記念事業の一環として実施された。県内各地の生態系や外来生物の影響などを自然風景とともに切り取った写真や、同協会の活動紹介を通じて、来場者に、島根の魅力ある優れた自然を再認識させるとともに、貴重な自然環境保護・保全の必要性を分かりやすい形で提示するものであった。



6. 手銭家蔵書から見る出雲の文芸 — 資料から再発見する江戸の底力 —

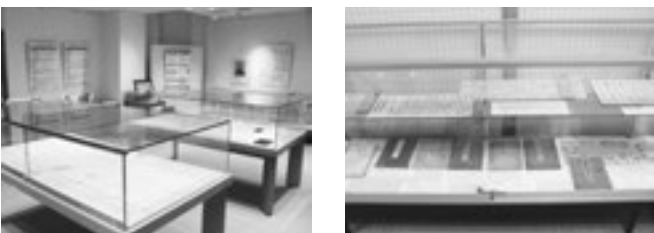
(出展者：出雲文化活用プロジェクト)

(1) 期間 2020年1月15日(水)～2月14日(金)

(2) 内容

江戸時代に出雲大社の門前町で商家を営みながら町役や藩の御用宿なども勤めていた手銭家には、書画や工芸品とともに様々な文書や古典籍が数多く伝わり、敷地内に併設された手銭記念館で展示・公開されている。

本展は、同館と島根大学が2019年5月に締結した包括的連携に関する協定の締結記念として、同年9月に開催したシンポジウムで示された新たな知見や新発見の資料をはじめとして、大社地域で活発に行われていた文芸活動の様子を示す資料の展示をとおして、江戸時代の豊かで活力に溢れた出雲の人々の文化的な生活を紹介するものであった。



* 出雲文化活用プロジェクト

手銭家所蔵資料の調査研究、翻刻、デジタル化を進め、

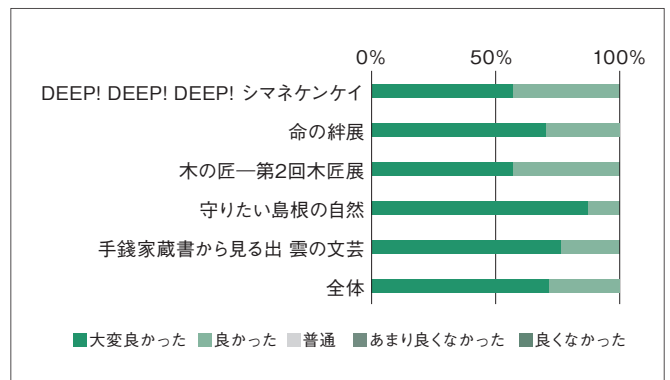
その成果を公開することによって、江戸時代における出雲大社周辺地域の生活文化や文芸活動の諸相を広く地域市民と共有することを目的として、2014年度に、(公財)手銭記念館、本学法文学部山陰研究センター、附属図書館が連携して立ち上げたプロジェクトである。

7. 来場者数及びアンケート結果

各展示の来場者数及び1日平均来場者数は次の表のとおりである。

展示名称	展示日数	来場者数	1日平均来場者数
DEEP! DEEP! DEEP! シマネケンケイ	15	595	40
命の絆展	31	810	26
山陰四大学合同写真展	9	257	29
木の匠 — 第2回木匠展	9	420	47
守りたい島根の自然	13	540	42
手銭家蔵書から見る出雲の文芸	26	450	17
合計	77	3,072	40

また、満足度を尋ねたアンケートの集計結果を次のグラフに示す。全体の36%が「大変良かった」、14%が「良かった」と回答しており、満足度が高いことが伺える。



なお、オールしまねCOC+事業は、2019年度で終了となり、後継事業として、本学や島根県、県内経済団体等の11団体が参画する「しまね産学官人材育成コンソーシアム」が設立されている。このコンソーシアムは、地域で支え、地域で活躍する若者の人材育成と県内定着を目的とした取り組みを継続的に実施することを目的としている。

また、附属図書館展示室を活用して展開してきた「地域コミュニティラボ」の名称は、規則改正により、2020年度以降、同展示室等を使用した図書館における展示の総称として冠することとした。今後も、地域で活躍する若者の人材育成等に寄与するために、山陰地域の各種団体の多彩な取り組みや成果発表の場として、様々な展示を企画・実施していく。

■ 社会貢献 — 学術情報の提供をとおして —

附属図書館は、所蔵資料等の提供をとおして様々な形での社会貢献活動を行っている。具体的には、県内の図書館ネットワークによる図書の貸出や古典籍等の資料の展示貸出、出版物への掲載や放映のための資料提供などである。また、古典籍等の学術的資料を活用した企画展示や関連するシンポジウムを開催することによって、本学が所蔵するコレクションの価値や特長を分かりやすく紹介することにも努めている。2019年度には、主催として計3回の企画展示を行い、延べ1,627人の来場があった。以下、各展示について報告する。

1. 中村元記念館コレクション

丸山勇写真展「中村 元とブッダのことば」

- (1) 期間 2019年6月12日(水)～28日(金)
- (2) 場所 附属図書館(本館) 3階 多目的室
- (3) 主催 中村元記念館、本学法文学部山陰研究センター、附属図書館
- (4) 内容

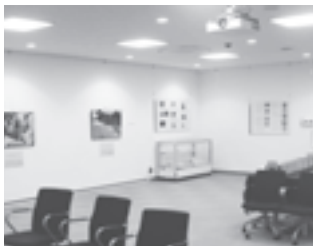
本学と中村元記念館は、2013年に包括的連携に関する協定を締結した。本展は、この協定に基づき、中村元の業績と同記念館のコレクションを広く学内外に紹介することを目的として開催したものである。

企画展では、中村元の業績をパネルで紹介するとともに、丸山勇氏撮影のインドの人々の写真に、中村元訳による『ブッダのことば』を添えて展示した。

また、記念講演として、同記念館の笠原愛古氏による中村元の生涯と思想についての講演、及び、本学法文学部の内藤忠和准教授による魯迅研究の第一人者で旧制松江高等学校及び島根大学教授を務めた増田渉と魯迅についての講演会を併せて開催した。

【記念講演】

- 日時：2019年6月22日(土) 13:30～16:00
- 会場：附属図書館 本館 3階 多目的室
- 講師及び演題：笠原愛古氏(中村元記念館東洋思想文化研究所研究員)「中村元博士の生涯と思想」/ 内藤忠和(島根大学法文学部准教授)「日本文人の上海体験—増田渉と魯迅を中心に」



2. 大森文庫からみた 華岡流医術の世界とその地方伝播

- (1) 期間 2019年10月29日(火)～11月13日(水)
- (2) 場所 附属図書館(本館) 1階 展示室

- (3) 主催 附属図書館
- (4) 内容

「大森文庫」は、安来市大森家の旧蔵書で、1804年、全身麻酔下での乳癌手術に世界で初めて成功した華岡青洲に大森家三代にわたり入塾し、秘伝口伝えで修得した華岡流医術の委細を記した筆写本と、地元島根での大森家診療録、および個人収集した小説・和歌等の刊本からなる。これらは、まとまった著述を残さなかった華岡青洲とその医術に関する貴重な資料であると共に、島根医学史の解明に寄与する史料群でもある。

本展では、「大森文庫」の史料・掛軸と解説パネルを展示し、華岡家門人であった大森泰輔・加善親子が、江戸時代後期の医家修業を通して見た華岡流医術の実態と、地元で施した医療について紹介した。

パネル及び、史料解説の監修は元医学部特任教授の梶谷光弘氏にお願いし、会期中にはギャラリートークも開催した。

【ギャラリートーク】

- 日時：2019年10月31日(木) 14:00～15:00
- 会場：附属図書館(本館) 1階 展示室
- 講師：梶谷光弘氏(いづも財団事務局長、元本学特任教授)



3. 海図にみる島根県隠岐と東部の港と海岸 — 明治と平成の海図の比較を通して —

- (1) 期間 2019年12月5日(木)～12月24日(火)
- (2) 場所 附属図書館(本館) 1階 展示室
- (3) 主催 本学法文学部地理学研究室、本学法文学部山陰研究センター、附属図書館(協力:海上保安庁 海洋情報部)

(4) 内容

海図は、現在は海上保安庁海洋情報部により、戦前は海軍水路部により、船舶の航行安全のために作成されているものである。海図は一般市民や学生の目に触れる機会が少ない資料だが、港や海岸の記載は国土地理院発行の地形図よりも内容が豊富で、地域の理解に役立つ資料の一つであるといえる。本展では、初めての試みとして、島根県隠岐及び東部地方を記した明治期の海図と現在の海図すべてを一同に集めて展示した。

明治期の海図については、海上保安庁海洋情報部の協力のもと2018年度より進めている、本学法文学部山陰研究センターの山陰研究共同プロジェクト「山陰地方における海図に関する地理学的研究—デジタル化を通して—」の成果の一つとして新たに発見されたものである。

本展では、今回新たに発見された明治期の海図と、現在の海図とを比較しながら、この地域の歴史的変遷について提示した。展示の企画・準備は、本学法文学部社会文化学科の専門教育科目「地理学調査法」の受講生が中心となって行った。

【展示解説】

日時：2019年12月5日(木) 15:00～15:30

会場：附属図書館(本館)1階 展示室

解説：本学法文学部の学生



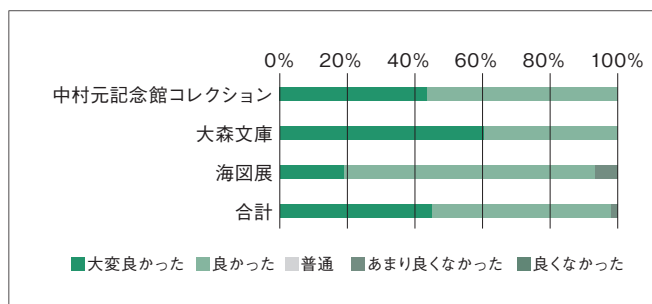
4. 来場者数及びアンケート結果

各展示の来場者数は次の表のとおりである。

満足度を尋ねたアンケートの集計結果を次のグラフに示す。全体で「大変良かった」「良かった」の合計が98%を占めており、非常に満足度が高いことが伺える。

展示名称	展示日数	来場者数	1日平均来場者数
中村元記念館コレクション	17	779	46
大森文庫	16	410	26
海図展	21	438	21
合計	54	1,627	30

2019年度の企画展示は、医学図書館の「大森文庫」という、附属図書館の主要なコレクションを紹介することができたほか、学内外の機関・部局と連携した特色のある企画展示が開催できた。いずれの企画展においてもコレクションが持つ資料の魅力と価値を伝えることができたのではないと思われる。



5. 展示貸出の実績

2019年度に学外で開催された展示会等に貸し出した附属図書館の史資料は以下の通りである。

(1) 松江歴史館企画展

「特別展 海将山口多聞を生んだ松江藩山口家」

会期：2019年9月13日(金)～11月4日(月)

資料：物理學術語和英仏獨対訳字書

「市制130周年記念 松江市につたわる指定文化財」

会期：2020年2月21日(金)～4月12日(日)

資料：大智度論 卷62 卷67

(2) 出雲弥生の森博物館

「没後180年 西山砂保 —出雲の近代医学の先駆け」

会期：2019年8月28日(水)～11月25日(月)

資料：他藩通鑑状、宗門証状、職方外紀、

シーボルト授与の修業証書

■ 学術情報基盤整備計画と電子ジャーナル・データベース

本学における電子ジャーナル・データベースは、3箇年単位で策定する学術情報基盤整備計画に基づいて整備している。2018年度に策定した第7期計画（2019～2021年度）では、年度ごとの実施内容を綿密に定めることにより、厳しさを増す財政状況に対応することを目指した。

2019年度には、第7期計画における2020年度及び2021年度整備計画として『令和2～3年度における電子ジャーナル等の整備について』を策定した。

『令和2～3年度における電子ジャーナル等の整備について』

第7期学術情報基盤整備計画において、令和2(2020)及び3(2021)年度の「導入経費は1億円を上限の目安とし、一部の電子ジャーナルの購読中止を検討する。」と定められている。

財源が限られるなか、本学の学術情報基盤を支える電子ジャーナル等を最大限効果的に整備すべく、下記のとおりに行うこととする。

記

1. 令和2(2020)及び3(2021)年度における電子ジャーナル経費の上限を、令和元(2019)年度並みの1億700万円とし、その2割を部局負担とする。
2. 上記1に鑑み、Oxford Online Packageを中止し、以下の電子ジャーナル等については契約を継続する。
 - ・ Elsevier ScienceDirect (2,200タイトル)
 - ・ Wiley Online Library (1,500タイトル)
 - ・ SpringerLINK (1,600タイトル)
 - ・ JSTOR (150タイトル)
 - ・ Cell
 - ・ Nature
 - ・ PNAS
 - ・ Science
 - ・ Web of Knowledge (Web of Science / Journal & Highly Cited Data)
 - ・ EJ Access Tools
3. 契約総額が1億700万円を超過する場合は、附属図書館において経費の使途見直しを進めることにより、超過分を図書館経費から拠出する。

以上

■ 学術情報基盤整備計画（第7期）で提供している電子ジャーナル・データベース

2019年度

電子ジャーナル/データベース名称	タイトル数	概要	備考
Elsevier ScienceDirect	2,282	Elsevier社発行のほぼすべての電子ジャーナル	
Wiley Online Library	1,490	Wiley Online Library 収録の電子ジャーナル	
SpringerLINK	1,600	Springer社発行のほぼすべての電子ジャーナル	
Oxford Online	316	Oxford University Press の電子ジャーナル	2020年中止
JSTOR	140	学術雑誌バックナンバーのアーカイブ	
Cell	1	Cell Press が発行する電子ジャーナル	
PNAS	1	米国科学アカデミー発行の電子ジャーナル	
Science	1	アメリカ科学振興協会が発行する電子ジャーナル	
Nature	1	Nature Publishing Group 発行の電子ジャーナル	
Web of Knowledge	—	世界の代表的なジャーナル等を収録する引用文献データベース	
EJ Access Tools : Summon + 360LINK	—	多様な電子リソースを横断的に検索可能なディスカバリーサービス及び電子リソース管理ツール	

統計

■基本統計：2019年度データ

		本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合計	
開館日数	平日	227	235		
	土・日・祝日	66	79		
	合計	293	314		
利用対象者数 (2020年5月1日現在)	教職員	2,953		2,953	
	学生	4,886	1,172	6,058	
	学外者	587	95	682	
	合計			9,693	
入館者数	学生・教職員	272,083	115,737	387,820	
	学外者	8,811	1,508	10,319	
	合計	280,894	117,245	398,139	
貸出冊数	学生	49,327	10,807	60,134	
	教職員	6,244	2,211	8,455	
	学外者	4,962	499	5,461	
	合計	60,533	13,517	74,050	
蔵書冊数 (2020年3月31日現在)	和漢書	685,196	74,222	759,418	
	洋書	157,670	66,031	223,701	
	合計	842,866	140,253	983,119	
図書受入冊数	和漢書	購入	5,891	1,185	7,076
		製本	435	335	770
		寄贈	2,134	85	2,219
		再受入	393	0	393
		計	8,853	1,605	10,458
	洋書	購入	303	80	383
		製本	0	39	39
		寄贈	216	1	217
		再受入	7	0	7
		計	526	120	646
	合計	9,379	1,725	11,104	
雑誌所蔵種類数	和雑誌	8,797	1,832	10,629	
	洋雑誌	2,897	1,727	4,624	
	合計	11,694	3,559	15,253	
雑誌受入種類数	和雑誌	購入	411	118	529
		寄贈・その他	507	163	670
		計	918	281	1,199
	洋雑誌	購入	47	11	58
		寄贈・その他	10	8	18
		計	57	19	76
合計	975	300	1,275		
資料費 (千円)	図書	17,998	5,743	23,741	
	雑誌	3,997	2,900	6,897	
	小計	21,995	8,643	30,638	
	データベース	6,787		6,787	
	電子ジャーナル経費*1	106,819		106,819	
	電子ジャーナル(戦略*2)	7,881		7,881	
	合計			152,125	
文献複写件数	受付	652	891	1,543	
	依頼	1,537	910	2,447	
現物貸借件数	貸出	538	22	560	
	借受	503	5	508	

*1 学術情報基盤整備計画 (P.14参照) にかかる経費相当分

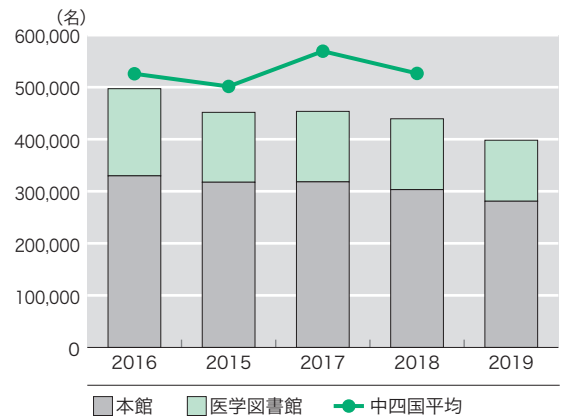
*2 戦略的機能強化推進経費

統計

利用者

■入館者数

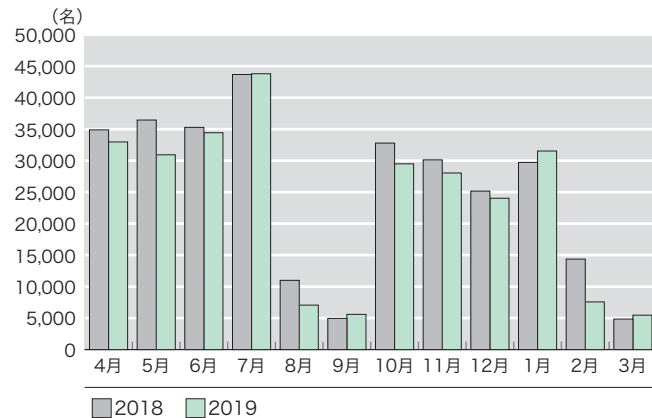
		2015	2016	2017	2018	2019
本館	学 生	309,620	297,697	297,613	283,452	262,194
	教 職 員	9,659	9,921	9,613	10,072	9,889
	学 外 者	10,427	9,788	10,920	9,718	8,811
	小 計	329,706	317,406	318,146	303,242	280,894
医学図書館	学生・教職員	167,042	134,017	134,075	134,910	115,737
	学 外 者	418	260	1,341	1,208	1,508
	小 計	167,460	134,277	135,416	136,118	117,245
合 計	497,166	451,683	453,562	439,360	398,139	
中 四 国 平 均*1	525,830	501,500	569,170	526,500	-	



*1中四国平均は、「日本の図書館：統計と名簿」（日本図書館協会編）に掲載の中国四国地区国立大学のうち、島根大学と同規模校（学部数2～7学部）7校（広島・岡山・鳴門教育大学を除く）の平均値を用いた。（以下同様）

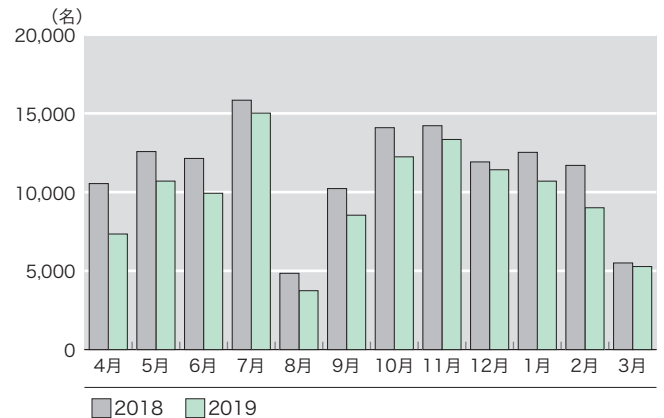
■月別入館者数

本館



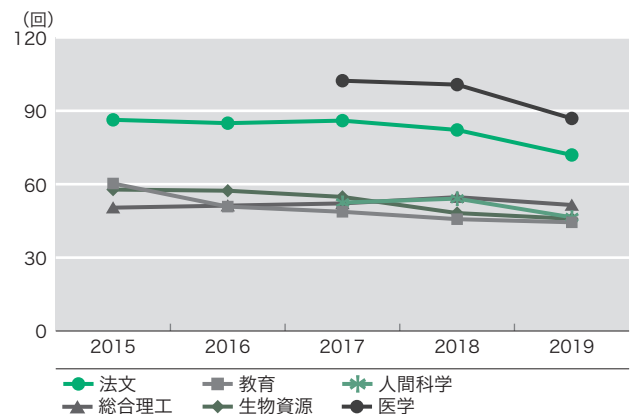
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2018	34,888	36,445	35,280	43,675	10,994	4,956	32,784	30,123	25,161	29,717	14,368	4,851
	2019	32,966	30,925	34,428	43,795	7,064	5,594	29,489	28,041	24,028	31,527	7,570	5,465
医学図書館	2018	10,542	12,575	12,139	15,838	4,845	10,225	14,092	14,217	11,919	12,526	11,698	5,502
	2019	7,340	10,700	9,929	15,018	3,740	8,535	12,241	13,344	11,420	10,697	9,007	5,274

医学図書館



■学生1人あたりの年間平均来館回数

学部	2015	2016	2017	2018	2019
法 文	86.31	84.95	85.99	82.18	71.95
教 育	60.29	50.85	48.73	45.71	44.43
人間科学*1	-	-	52.50	54.11	46.48
総合理工	50.41	51.25	52.15	54.71	51.50
生物資源	57.81	57.34	54.81	48.20	45.86
医 学*2	-	-	102.30	100.70	86.88



*1 人間科学部は2017年度新設

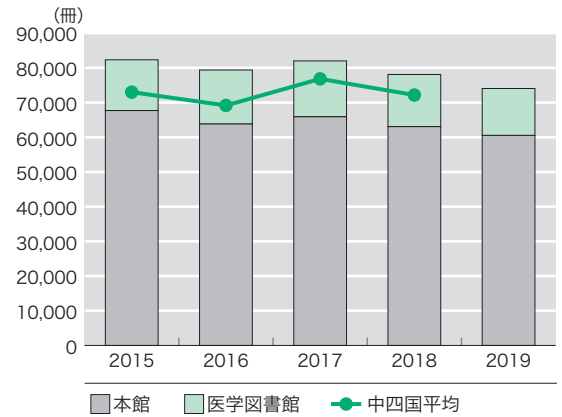
*2 医学部学生の医学図書館への入館回数。

医学図書館は2017年4月3日から入館ゲートを設置。

貸出

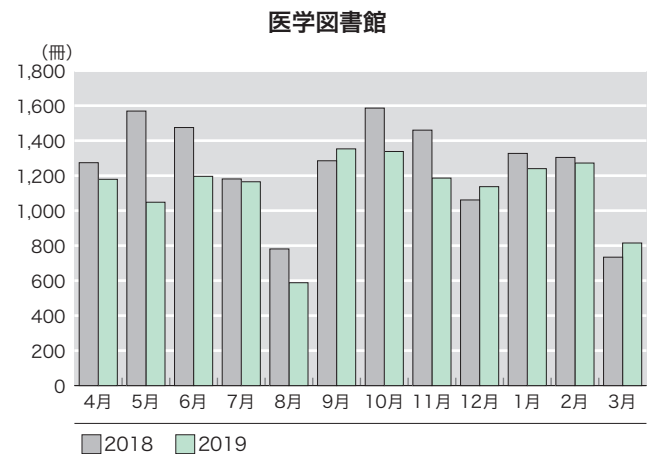
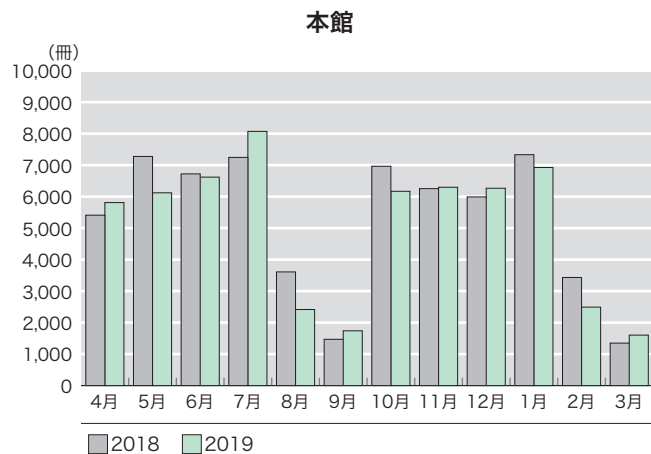
貸出冊数

		2015	2016	2017	2018	2019
本館	学 生	57,301	53,631	55,564	52,431	49,327
	教 職 員	5,851	5,598	5,809	6,191	6,244
	学 外 者	4,541	4,585	4,523	4,437	4,962
	小 計	67,693	63,814	65,896	63,059	60,533
医学図書館	学 生	12,421	12,871	13,694	12,258	10,807
	教 職 員	1,688	2,273	2,171	2,432	2,211
	学 外 者	518	418	243	347	499
	小 計	14,627	15,562	16,108	15,037	13,517
合 計	82,320	79,376	82,004	78,096	74,050	
中 四 国 平 均	73,000	69,170	76,830	72,170	-	



※延長貸出も回数としてカウントしている。

月別貸出冊数

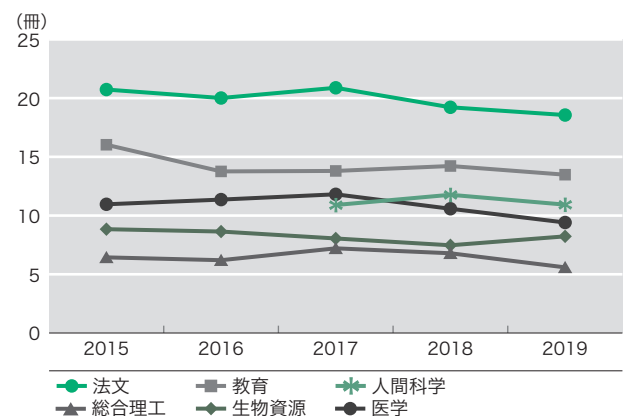


		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2018	5,411	7,276	6,722	7,246	3,610	1,470	6,965	6,254	5,991	7,332	3,433	1,349
	2019	5,811	6,121	6,619	8,072	2,416	1,740	6,170	6,298	6,266	6,925	2,492	1,603
医学図書館	2018	1,274	1,569	1,475	1,181	781	1,285	1,586	1,460	1,061	1,327	1,304	734
	2019	1,179	1,048	1,196	1,165	588	1,353	1,338	1,186	1,137	1,240	1,272	815

学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2015	2016	2017	2018	2019
法 文	20.73	20.01	20.88	19.22	18.56
教 育	16.03	13.76	13.80	14.22	13.48
人間科学*1	-	-	10.90	11.77	10.93
総 合 理 工	6.44	6.20	7.21	6.79	5.59
生 物 資 源	8.84	8.64	8.05	7.47	8.23
医 学	10.96	11.36	11.81	10.58	9.41

*1人間科学部は2017年度新設



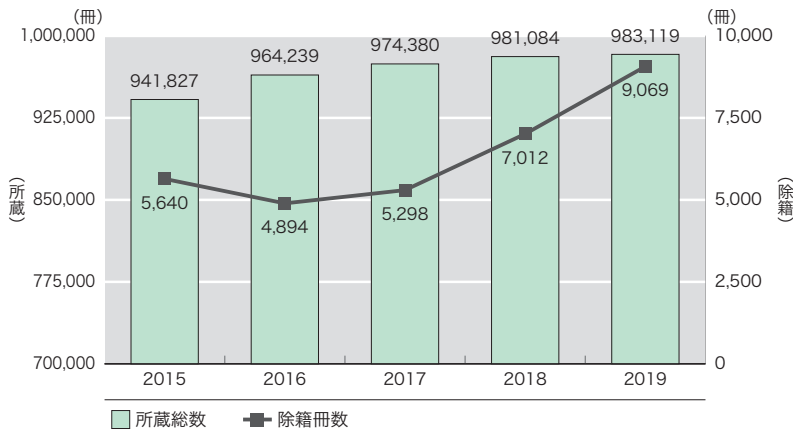
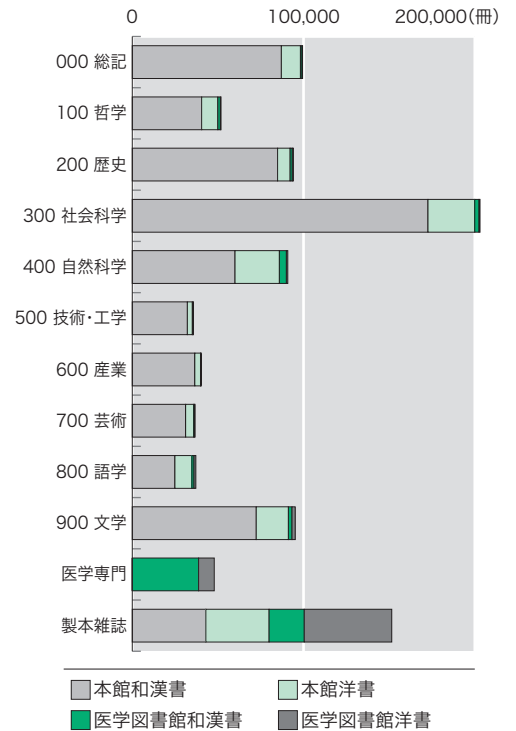
統計

図書

蔵書冊数 (分類別)

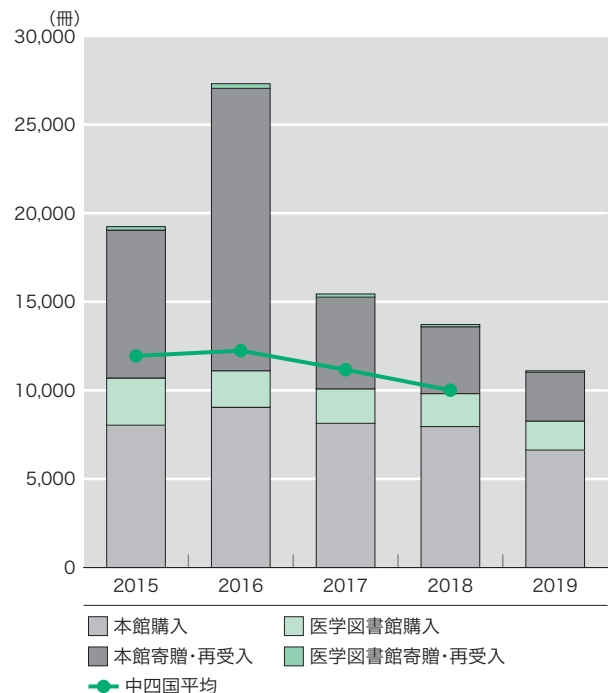
分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	87,060	11,134	98,194	923	328	1,251	99,445
100 哲学	40,502	9,472	49,974	1,466	383	1,849	51,823
200 歴史	84,854	7,330	92,184	1,241	646	1,887	94,071
300 社会科学	172,669	27,298	199,967	2,527	559	3,086	203,053
400 自然科学	60,000	25,907	85,907	4,092	811	4,903	90,810
500 技術・工学	32,175	2,905	35,080	475	30	505	35,585
600 産業	36,518	3,320	39,838	285	25	310	40,148
700 芸術	31,158	4,665	35,823	603	134	737	36,560
800 語学	24,897	9,923	34,820	1,240	1,054	2,294	37,114
900 文学	72,398	18,773	91,171	2,107	1,844	3,951	95,122
医学専門	1	0	1	38,734	9,139	47,873	47,874
製本雑誌	42,964	36,943	79,907	20,529	51,078	71,607	151,514
合計	685,196	157,670	842,866	74,222	66,031	140,253	983,119

※2020年3月31日現在の数字。ただし、データ抽出は2020年5月12日のため冊数内訳に若干数の変更がある。
※視聴覚資料を含む。



受入冊数

		2015	2016	2017	2018	2019	
本館	和漢書	購入	7,152	7,855	7,281	7,148	5,891
		製本雑誌	460	395	530	544	435
		寄贈	1,492	2,304	3,392	2,618	2,134
		再受入	3,995	13,031	1,524	791	393
		計	13,099	23,585	12,727	11,101	8,853
	洋書	購入	351	651	328	264	303
		製本雑誌	70	144	0	0	0
		寄贈	115	255	207	187	216
		再受入	2,742	346	49	179	7
		計	3,278	1,396	584	630	526
小計	16,377	24,981	13,311	11,731	9,379		
医学図書館	和漢書	購入	1,986	1,489	1,346	1,403	1,185
		製本雑誌	371	380	414	325	335
		寄贈	168	162	172	97	85
		再受入	10	86	2	12	0
		計	2,535	2,117	1,934	1,837	1,605
	洋書	購入	170	98	96	80	80
		製本雑誌	128	95	91	51	39
		寄贈	13	5	7	17	1
		再受入	4	10	0	0	0
		計	315	208	194	148	120
小計	2,850	2,325	2,128	1,985	1,725		
合計	19,227	27,306	15,439	13,716	11,104		
中四国平均	11,941	12,238	11,164	10,007	-		
除籍冊数	5,640	4,894	5,298	7,012	9,069		
所蔵総数	941,827	964,239	974,380	981,084	983,119		

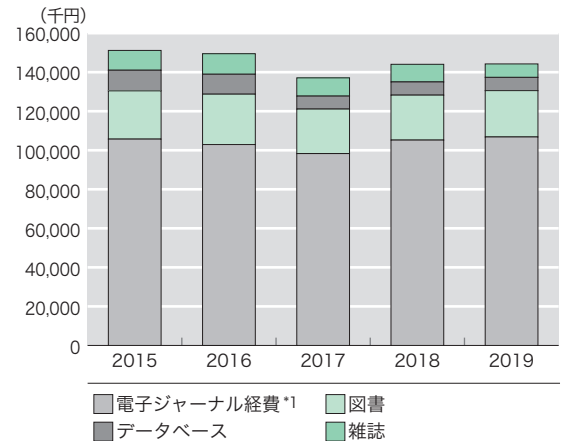


■ 図書館資料費

■ 図書館資料費の推移

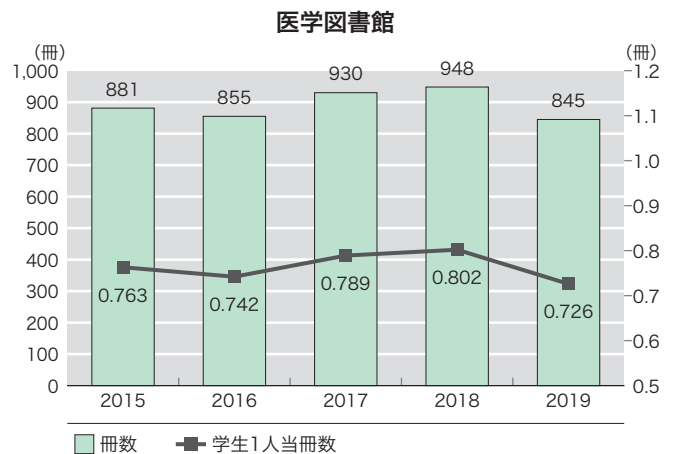
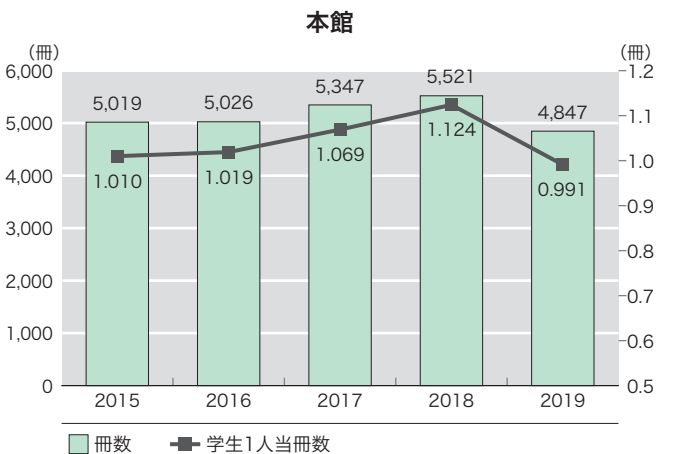
(単位：千円)

		2015	2016	2017	2018	2019
本館	図書	15,533	15,628	17,311	17,377	17,998
	図書(戦略*2)	2,708	5,000	0	0	0
	雑誌	5,800	5,840	6,286	6,093	3,997
	小計	24,041	26,468	23,597	23,470	21,995
医学図書館	図書	5,192	5,181	5,488	5,655	5,743
	図書(戦略*2)	1,290	0	0	0	0
	雑誌	4,347	4,689	3,062	2,947	2,900
	小計	10,829	9,870	8,550	8,602	8,643
データベース		10,570	10,212	6,649	6,757	6,787
電子ジャーナル経費*1		105,719	102,929	98,309	105,218	106,819
電子ジャーナル(戦略*2)		0	399	659	3,553	7,881
合計		151,159	149,878	137,764	147,600	152,125

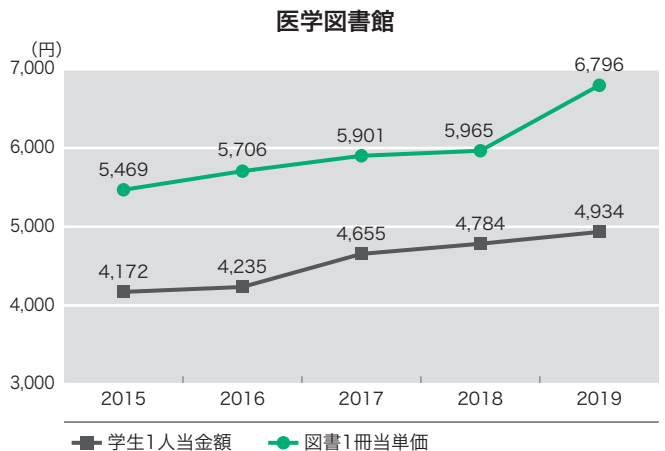
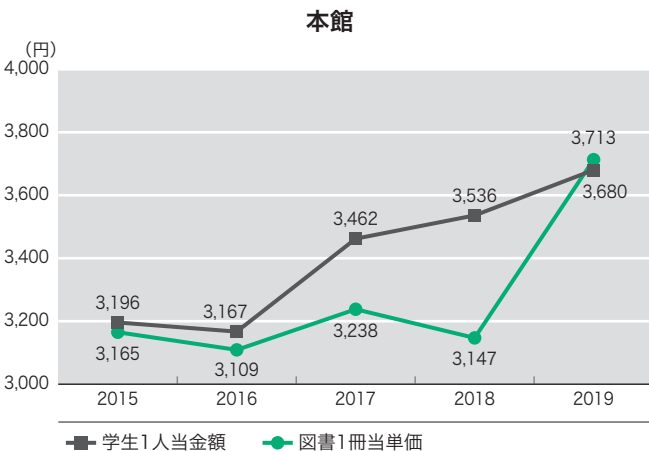


*1 学術情報基盤整備計画(P.14参照)にかかる経費相当分
*2 戦略的機能強化推進経費分

■ 学生用図書費



※グラフ中では比較のため、戦略的機能強化推進経費での購入分は含めていない。



※グラフ中では比較のため、戦略的機能強化推進経費での購入分は含めていない。

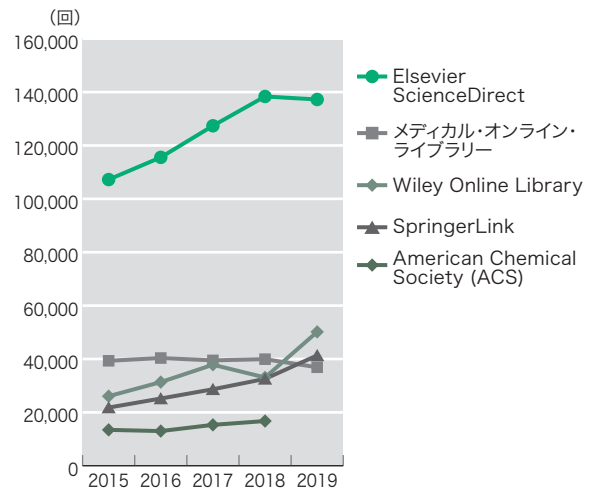
統計

電子ジャーナル・電子ブック

■主要電子ジャーナルの利用状況（ダウンロード回数）

	2015	2016	2017	2018	2019
Elsevier ScienceDirect	107,224	115,542	127,375	138,357	137,229
メディカル・オンライン・ライブラリー	39,323	40,357	39,480	39,930	36,903
Wiley Online Library	26,063	31,343	37,847	33,079	50,150
SpringerLink	21,797	25,189	28,654	32,551	41,341
American Chemical Society (ACS)	13,442	12,994	15,323	16,752	-
Oxford Online Package	8,218	8,820	10,614	11,158	12,190
Nature本誌	4,871	4,712	5,284	5,160	6,099
PNAS	2,559	2,703	2,257	2,504	3,137
Science	2,434	2,252	2,121	2,703	3,212
JSTOR	1,191	1,177	1,338	1,550	1,128
Cell	1,432	1,084	1,529	1,921	1,764

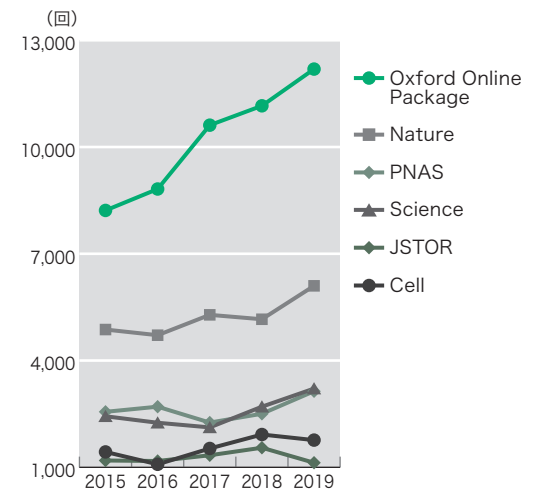
※当該年の1月～12月で集計している。



■電子ジャーナル契約タイトル数

電子ジャーナル経費 (主学共通経費等)	和洋	2019	
		和洋	2019
Cell	洋		1
Elsevier ScienceDirect	洋		2,282
JSTOR*1	洋		140
Nature	洋		1
Oxford Online Package	洋		316
PNAS	洋		1
Science	洋		1
SpringerLink	洋		1,600
Wiley Online Library	洋		1,490
小計			5,832
British Medical Journal (BMJ)	洋		23
Karger	洋		81
Lippincott Williams and Wilkins(LWW)	洋		61
その他個別タイトル	洋		31
メディカル・オンライン・ライブラリー	和		1,383
その他個別タイトル	和		4
小計			1,583
タイトル数 合計			7,415

*1 Art & Science Collection I, Health & General Science Collection



■電子ブック契約タイトル数

	和洋	2019	備考
EBSCOhost eBook Collection	和	190	
Elsevier ScienceDirect	洋	1	
Maruzen eBook Library	和	939	
メディカルオンライン・イーブックス	和	66	
Maruzen eBook Library	洋	459	主に英語多読図書
ProQuest Ebook Central	洋	61	
Springer eBooks	洋	12,142	主に数学・統計分野
タイトル数合計		13,858	

※ 2019年度時点での累積。買い切り分のみ（年間購読型は含まない）

データベース

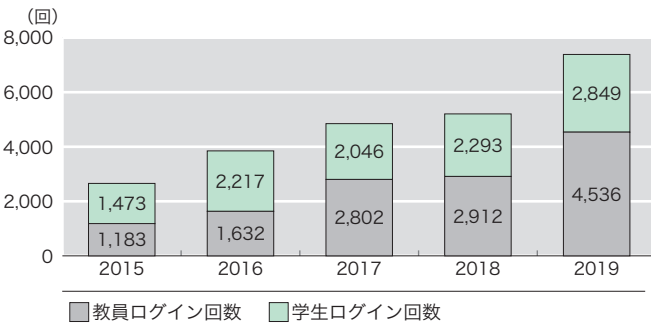
■契約データベースの利用状況

データベース名称	カテゴリ	2015	2016	2017	2018	2019	備考
CINAHL	看護学英語文献	1,742	449	155	702	593	1-12月/検索回数
Web of Science	全分野英語文献	22,878	23,597	23,877	31,124	32,786	1-12月/検索回数
Westlaw Japan	法学文献・判例	-	-	760	606	669	4-3月/ログイン回数
朝日新聞聞蔵II ビジュアル	新聞	2,710	2,841	2,097	2,364	2,493	4-3月/ログイン回数
医学中央雑誌Web	医学・看護学文献	60,151	65,095	63,533	71,879	75,167	4-3月/検索回数
化学書資料館	化学参考図書	3,480	4,001	2,499	2,808	3,574	4-3月/アクセス数
ジャパンレッジ	各種参考図書等	47,684	55,440	42,018	64,650	68,817	4-3月/検索回数
日経テレコン21	新聞	11,176	10,812	7,730	5,076	8,492	4-3月/本文利用件数
ヨミダス歴史館	新聞	2,287	1,611	3,430	2,190	6,058	4-3月/検索回数
ルーラル電子図書館	農学参考図書	297	1,702	1,476	1,230	589	4-3月/記事閲覧回数
和歌ライブラリー	和歌	1,125	1,199	847	1,133	748	4-3月/ログイン回数
JCR: Journal Citation Reports	学術雑誌評価ツール	-	-	-	-	-	
Summon(Discovery Service)	横断検索ツール	-	-	-	-	-	

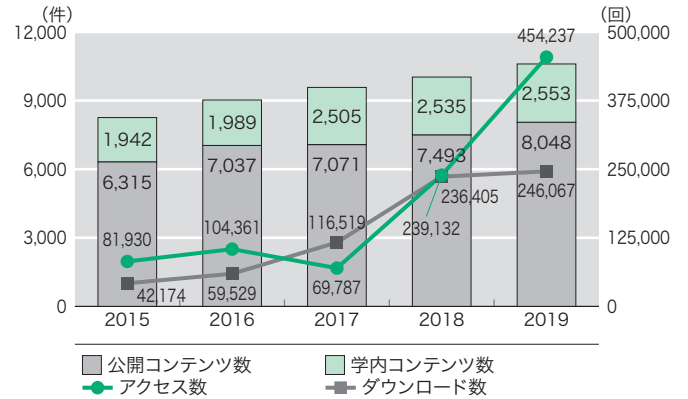
※ 電子ジャーナル経費及び図書館経費での契約分

Webサービス

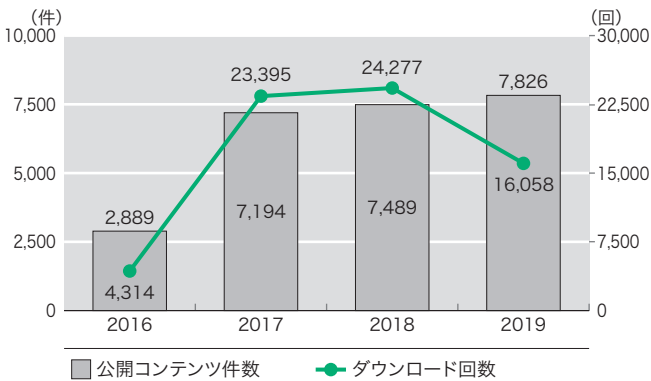
■EZproxy (リモートアクセス)



■島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)

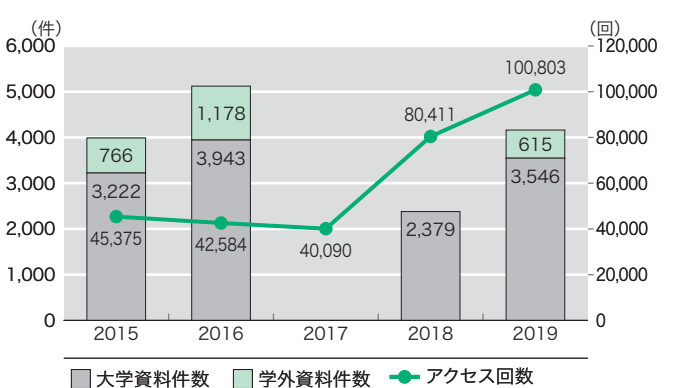


■しまね地域資料リポジトリ (GO-GURa)



※GO-GURaの公開は2016年11月1日から

■デジタルアーカイブ



※2017年度は情報セキュリティインシデント対応のため一部統計取得不可期間あり
 ※2018年1月にシステムのリニューアルオープン

■本館の『館内施設利用予約』(Web予約システム)

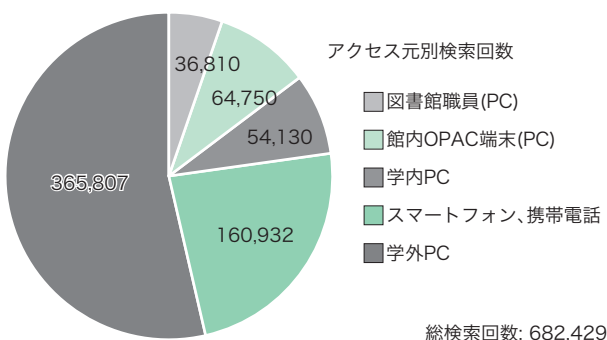
部屋名	総利用時間*1	総開室時間*2	稼働率[%]*3
グループ学習室1	1,171時間 0分	2,980時間30分	39.29
グループ学習室2	973時間45分	2,980時間30分	32.67
研究個室1	884時間 0分	2,980時間30分	29.66
研究個室2	721時間45分	3,108時間30分	23.22
研究個室3	746時間15分	3,108時間30分	24.01
研究個室4	423時間15分	3,108時間30分	13.62
研究個室5	385時間30分	3,108時間30分	12.40

*1 総利用時間とは、館内施設を実際に利用した時間を累積したもの

*2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年3月6日(金)からグループ学習室、研究個室1の利用を禁止していたため、総開室時間が他の部屋よりも短くなっている

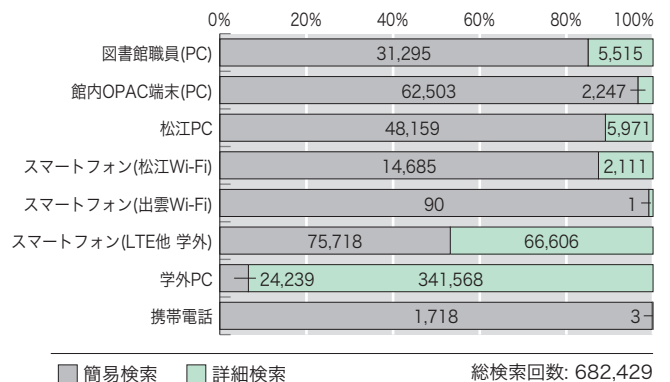
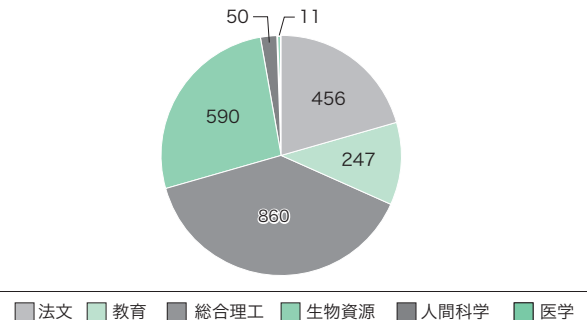
*3 稼働率は、総利用時間を総開室時間で除算したもの

■OPAC検索回数 (アクセス元別)



※「学外PC」にはボット等の機械的なアクセスも含まれる。

学部別グループ学習室、研究個室の利用回数

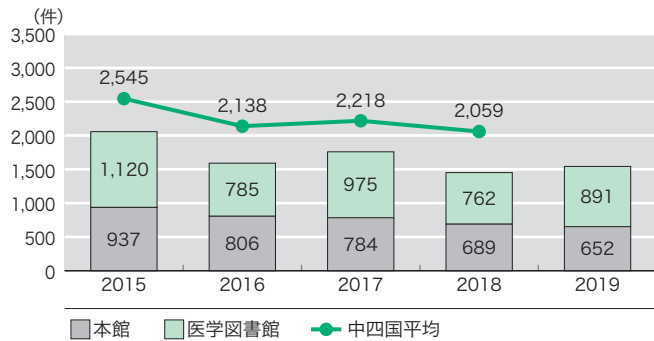


相互協力

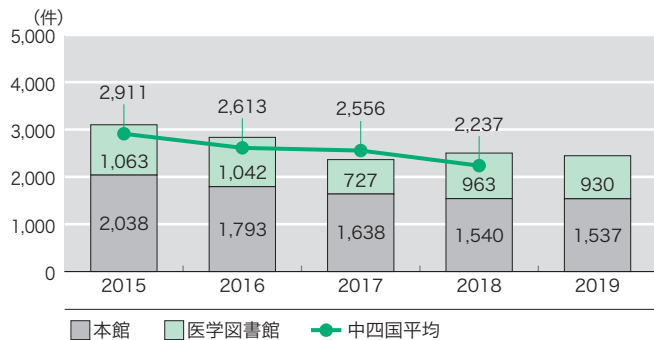
文献複写件数

		2015	2016	2017	2018	2019
本館	受付	937	806	784	689	652
	国内依頼	2,038	1,793	1,638	1,540	1,537
	海外依頼	0	0	0	0	0
	依頼小計	2,038	1,793	1,638	1,540	1,537
医学図書館	受付	1,120	785	975	762	891
	国内依頼	1,063	1,042	727	963	910
	海外依頼	0	0	0	0	0
	依頼小計	1,063	1,042	727	963	910
中四国平均	受付	2,545	2,138	2,218	2,059	-
	依頼	2,911	2,613	2,556	2,237	-

文献複写受付件数の推移



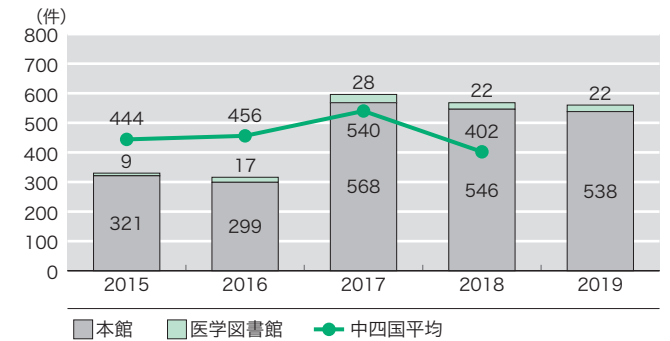
文献複写依頼（取寄）件数の推移



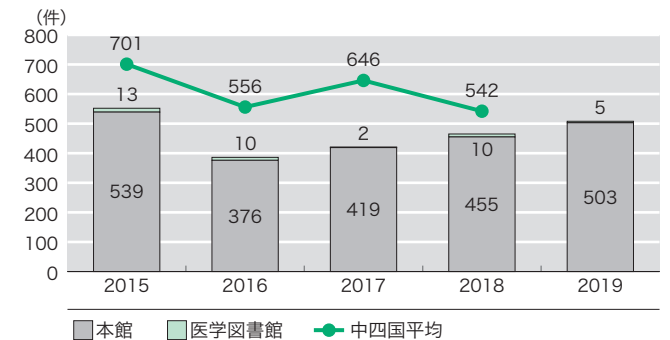
現物貸借件数

		2015	2016	2017	2018	2019
本館	貸出	321	299	568	546	538
	借受	539	376	419	455	503
医学図書館	貸出	9	17	28	22	22
	借受	13	10	2	10	5
中四国平均	貸出	444	456	540	402	-
	借受	701	556	646	542	-

現物貸借貸出件数の推移



現物貸借借受件数の推移



県内図書館間の相互貸借（本館）

	貸出冊数					借受冊数				
	2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019
島根県立大学（松江）	26	32	12	22	46	5	10	5	4	5
松江高専	7	17	4	3	5	1	2	0	1	0
島根県立図書館	23	23	53	33	46	10	21	23	24	16
県立以外の公共図書館	131	160	240	262	227	12	12	21	17	27
合計	187	232	309	320	324	28	45	49	46	48

団体貸出

松江市立図書館コーナーの貸出回数（本館）

テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
新生活応援!	2019年 4月11日～2019年 5月31日	73	21
小説	2019年 6月17日～2019年 7月29日	87	57
自分磨きの本	2019年 8月 9日～2019年 9月24日	88	35
うれしい／かなしい	2019年10月11日～2019年11月29日	55	20
コンシェルジュ開催イベントで紹介された本、冬っぴい本	2019年12月13日～2020年 1月31日	69	39
合計		372	172

※松江市立中央図書館からの団体貸出（図書館コンシェルジュが選書）

移動図書館

松江市立図書館移動図書館車の利用状況（松江キャンパス）

巡回日	新規登録者数	貸出者数	貸出冊数
2018年10月31日（木）	12	23	56
2018年11月29日（金）	5	16	54
合計	17	39	110

いこうる（男女共同参画図書コーナー）の貸出回数（本館）

テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
人権、多様性、伝記、人間関係	2019年 4月～2019年 6月	100	61
こころ、災害、食、スポーツ、男女共同参画	2019年 7月～2019年 9月	100	25
医療、家族、教育、デザイン	2019年10月～2019年12月	100	24
生き方、しごと、自然、文学	2020年 1月～2020年 3月	100	29
合計		400	139

※国立女性教育会館からの団体貸出

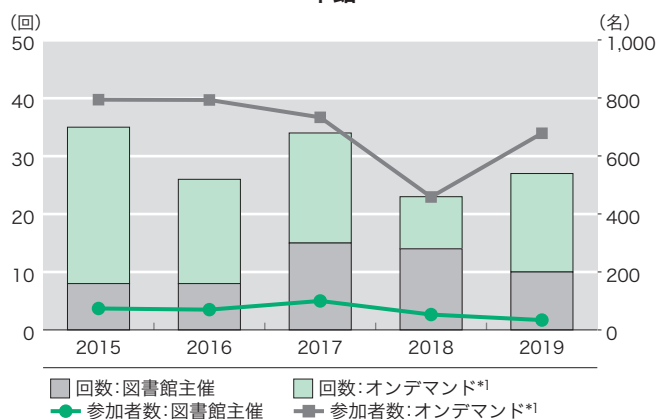
講習会

■学術情報リテラシー講習会

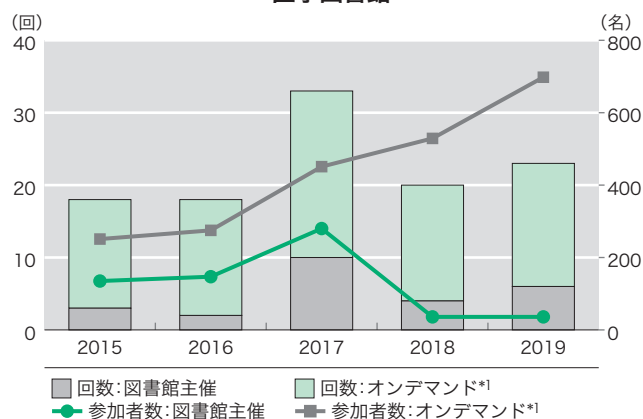
			2015	2016	2017	2018	2019
本館	図書館主催	回数	8	8	15	14	10
		参加者数	74	70	100	53	34
	オンデマンド*1	回数	27	18	19	9	17
		参加者数	795	794	734	459	679
医学図書館	図書館主催	回数	3	2	10	4	3
		参加者数	135	147	280	36	36
	オンデマンド*1	回数	15	16	23	16	17
		参加者数	251	275	451	529	698
参加総数			1,255	1,286	1,565	1,077	1,447

*1オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す。

本館

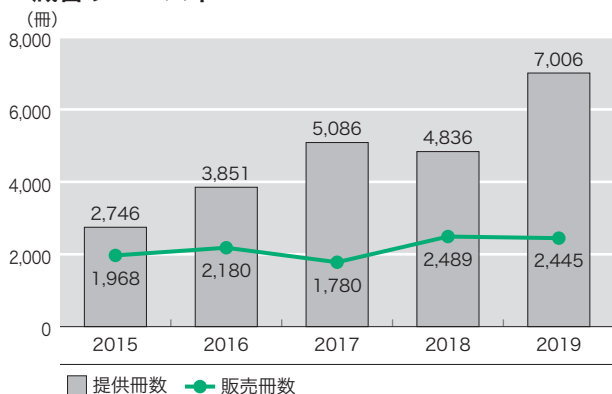


医学図書館



■その他

■蔵書リユース市



■図書館見学・ツアー

実施日	参加者	人数
2019年 5月17日	米子市立啓成公民館	22
5月28日	松江西高校	35
6月 4日	鳥取中央育英高校	159
6月 4日	松江西高校	35
6月12日	川津小学校3年	110
6月14日	三次市立君田中学校	13
6月23日	生物試験科学部学生保護者	10
6月28日	中国電力	20
8月 5日	小中学生開放参加者	7
8月 7日	小中学生開放参加者	3
8月21日	しまだいキッズスクール参加者	5
9月18日	高校生訪問参加者	20
9月26日	出雲市立第一中学校	6
10月 8日	江津高校	77
10月15日	米子北斗高校	40
10月23日	川津小学校2年	60
10月23日	高校生訪問参加者	20
10月31日	生物資源・生命科学科1回生	15
11月 1日	島根大学附属小学校2年生	11
11月25日	北方民族大学・副校長ほか	3
11月26日	倉吉東高校	14
12月18日	南京林業大学訪問団	7
12月18日	外国からの訪問団	11

その他の記録

図書館日誌 (2018年4月～2019年3月)

年月日	カテゴリ	館区分	事 項
2019年 4月 4日	講習会・研修	本 館	新任教員ガイダンス
4月 8日	そ の 他	共 通	図書館ホームページ「教員向けの各種案内ページ」を更新・公開
4月17日	コンシェルジュ	本 館	第11回ラーコモカフェ「図書館コンシェルジュって知ってる？」
4月18日	イ ベ ント	本 館	講演会「国指定文化財河本家 春の一般公開文化講演会」（鳥取県琴浦町河本家）
4月19日	イ ベ ント	本 館	公開講座 アイルランドにおけるラフカディオ・ハーンと作品"Hi-Mawari"
4月27日	コンシェルジュ	本 館	読書会（ABD…アクティブ・ブック・ダイアログ）開催（第1回）
5月22日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「DEEP! DEEP! DEEP! シマネケンケイ」（6月3日まで）
5月27日	会 議 等	共 通	第1回附属図書館運営会議
5月27日	会 議 等	本 館	第1回本館運営会議
5月28日	地 域 貢 献	共 通	公益財団法人手銭記念館と包括的連携に関する協定を締結
6月10日	会 議 等	医学図書館	第1回医学図書館運営会議
6月12日	イ ベ ント	本 館	地域コミュニティラボ展示「中村元とブグダのことは」（6月28日まで）
6月17日	会 議 等	共 通	第2回附属図書館運営会議
6月17日	会 議 等	本 館	第2回本館運営会議
6月22日	イ ベ ント	本 館	中村元記念館コレクション展関連講演会「山陰が生んだ知識人たち」
6月25日	イ ベ ント	本 館	第15回蔵書リユース市（6月27日まで）
6月28日	そ の 他	本 館	「本館所蔵雑誌の貸出についてのアンケート調査結果」公開（図書館ホームページ）
6月29日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「命の絆」（7月29日まで）
6月29日	コンシェルジュ	本 館	読書会（ABD…アクティブ・ブック・ダイアログ）開催（第2回）
7月 1日	会 議 等	医学図書館	第2回医学図書館運営会議（メール会議 7月4日まで）
7月17日	そ の 他	共 通	オープンアクセス方針の英訳版（参考訳）を公開
8月 5日	地 域 貢 献	本 館	長期休業中の小中学生への施設開放を試行実施（8月23日まで）
8月 5日	そ の 他	医学図書館	医学図書館2階カーペット貼り替え（8月9日まで）
8月19日	そ の 他	医学図書館	医学図書館2階の図書・書架移動（参考図書等の移動）（8月22日まで）
8月29日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「山陰四大学合同写真展」（9月6日まで）
9月 4日	地 域 貢 献	医学図書館	中学生の職場体験（出雲二中2名/9月6日まで）
9月 5日	イ ベ ント	本 館	大学図書館学生協働交流シンポジウム（本学/9月5日まで）
9月 9日	そ の 他	本 館	蔵書点検（本館）（9月12日まで）
9月10日	地 域 貢 献	医学図書館	中学生の職場体験（出雲三中2名/9月12日まで）
9月14日	イ ベ ント	本 館	記念シンポジウム「資料から再発見する江戸の底力」
9月18日	地 域 貢 献	本 館	中学生の職場体験（附属義務教育学校2名/9月20日まで）
9月30日	会 議 等	共 通	第3回附属図書館運営会議
9月30日	会 議 等	本 館	第3回本館運営会議
9月30日	会 議 等	医学図書館	第3回医学図書館運営会議
9月30日	そ の 他	共 通	デジタルアーカイブの利用条件を改定
10月 1日	そ の 他	共 通	文献複写料金を改定（10月1日から）
10月 8日	地 域 貢 献	本 館	中学生の職場体験（湖南中2名/10月11日まで）
10月16日	コンシェルジュ	本 館	第13回ラーコモカフェ「TEDxShimaneUのお話し」
10月17日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「木の匠」（10月25日まで）
10月20日	コンシェルジュ	本 館	全国大学ビブリオバトル2019 中国地区予選（島根県立大学松江キャンパス）
10月29日	展 示	医学図書館	企画展示「大森文庫からみた華岡流医術とその地方伝播」（11月13日まで）
11月 1日	そ の 他	共 通	初学者向けデータベース紹介サイト「来たぞ！データベース戦隊」をリニューアル
11月 6日	イ ベ ント	本 館	学生選書ツアー（今井書店グループセンター店）
11月11日	イ ベ ント	本 館	外国人留学生による出雲文化体験ツアー
11月14日	講習会・研修	共 通	英語論文投稿セミナー「論文作成・投稿をよりスムーズに」
11月14日	そ の 他	医学図書館	JMLA中国四国地区会総会（鳥取大学）

11月16日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「守りたい島根の自然」(11月28日まで)
11月16日	イ ベ ント	共 通	しまね大交流会に出展(くにびきメッセ)
11月25日	会 議 等	医学図書館	島根県医療関係機関等図書館(室)懇談会総会(島根県立大学出雲キャンパス)
11月27日	コンシェルジュ	本 館	第14回ラーコモカフェ「ミステリーを読もう」
11月28日	そ の 他	本 館	令和元年度防火・防災総合訓練(松江キャンパス)
11月30日	コンシェルジュ	本 館	読書会(ABD…アクティブ・ブック・ダイアログ)開催(第3回)
12月 5日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「海図にみる島根県隠岐と東部の港と海岸」(12月24日まで)
12月10日	そ の 他	共 通	デジタルアーカイブに学内限定コンテンツを搭載
12月11日	講 習 会・研 修	共 通	英語論文投稿セミナー「アクセプトされやすい英語論文とは」
12月12日	そ の 他	本 館	令和元年度避難所運営教育・訓練
12月14日	イ ベ ント	本 館	全国高校ビブリオバトル島根県大会(島根大学)
12月18日	コンシェルジュ	本 館	第15回ラーコモカフェ「大学生を中心としたすべての世代、世界を照らすSDGs」
2020年 1月15日	展 示	本 館	地域コミュニティラボ展示「手銭家蔵書から見る出雲の文芸」(2月14日まで)
1月15日	コンシェルジュ	本 館	第16回ラーコモカフェ「学生EMS大会議「話そう!大学の環境問題!」
2月17日	そ の 他	共 通	新図書情報システムによる業務開始
2月18日	会 議 等	共 通	第4回附属図書館運営会議(医学図書館利用要領 改定)
2月18日	会 議 等	本 館	第4回本館運営会議
2月18日	会 議 等	医学図書館	第4回医学図書館運営会議
3月 5日	そ の 他	共 通	新型コロナウイルス感染拡大防止に係る利用制限の発表(第一報)

報道

事 項	掲 載 紙
手銭記念館と包括的連携協定	山陰中央新報、島根日日新聞(2019/5/29)、文教ニュース(2019/6/10)
講演会「山陰が生んだ知識人たち—中村元と増田渉—」	山陰中央新報(2019/6/23)、文教ニュース(2019/7/15)
地域コミュニティラボ写真展「中村元とブグダのことば」	山陰中央新報(2019/6/25)
蔵書リユース市	マープルテレビ(2019/6/21)、文教ニュース(2019/7/15)
図書館施設を小中学生に開放(試行)	山陰中央新報(2019/8/8)
図書館コンシェルジュ企画読書会「ABD(アクティブ・ブック・ダイアログ)」	カレントアウェアネス(2019/8/28、2019/12/19)
図書館コンシェルジュ主催のイベントにポイントカード制を導入	カレントアウェアネス(2019/9/10)
シンポジウム 資料から再発見する江戸の底力	山陰中央新報(2019/9/8、9/10)、文教ニュース(2019/10/14)
デジタルアーカイブの利用条件を改訂	カレントアウェアネス(2019/10/3)
大学図書館学生協働交流シンポジウム	文教ニュース(2019/10/7)
初学者向けデータベース紹介サイト「来たぞ!データベース戦隊!」をリニューアル	カレントアウェアネス(2019/11/1)
企画展「大森文庫からみた華岡流医術とその地方伝播」	山陰中央新報(2019/11/9)
地域コミュニティラボ企画展「海図にみる島根県隠岐と東部の港と海岸」	カレントアウェアネス(2019/12/3)
留学生が出雲の伝統文化体験	文教ニュース(2019/12/23)
避難所運営教育・訓練	文教ニュース(2020/1/6・13)
島根大「図書館コンシェルジュ」読書会や講話会開催	山陰中央新報(2020/1/17)
ギャラリートークを実施「木の匠—木匠展in島根大学—」展	文教ニュース(2020/1/20)
地域コミュニティラボ企画展「手銭家蔵書から見る出雲の文芸 その2」	山陰中央新報(2020/1/21)
島根大学附属図書館デジタルアーカイブのライセンスの改定	カレントアウェアネス(2020/1/30)
全国高校ビブリオバトル島根県大会	文教ニュース(2020/2/3)
島根大学附属図書館デジタルアーカイブ、認証コンテンツを搭載	カレントアウェアネス(2020/3/17)

その他の記録

講師等

年月日	氏名	発表タイトル等	研修会名等（会場）
2019年 4月29日	昌子喜信	河本家古典籍のデジタル化と活用 －『礼儀類典』を中心に－	「国指定文化財河本家 春の一般公開」 文化講演会 (鳥取県琴浦町)
2019年 9月14日	昌子喜信	山陰地域史資料デジタル化と活用事業	島根大学・手銭記念館包括連携協定締結記念 3プロジェクト合同成果報告シンポジウム 「資料から再発見する江戸の底力」 (島根大学松江キャンパス)
2019年11月14日	三村のぞみ	島根大学附属図書館における学生協働 －学生も職員も成長できる図書館を目指して－	2019年度大学図書館シンポジウム 「学生協働の到達点」 (パシフィコ横浜)
2019年11月14日	昌子喜信	図書館における資料の保存と公開	法文学部専門教育科目「地域資料総合演習」 (島根大学松江キャンパス)
2019年11月28日	青柳和仁	III対応によるデジタルアーカイブの再構築	令和元年度 山口県大学図書館協議会研修会 (山口大学吉田キャンパス)
2020年 1月22日	矢田貴史	図書館情報学・学術情報の流通	令和元年度文化財担当者専門研修 「文化財デジタルアーカイブ課程」 (奈良文化財研究所)

雑誌等での発表・報告

年月	氏名	タイトル	掲載誌等
2020年1月	青柳和仁	島根大学附属図書館デジタルアーカイブの ライセンスの改定	『カレントアウェアネス-E』 384号
2020年3月	三村のぞみ	第9回大学図書館学生協働交流シンポジウムで実施した ワークショップ等の内容および検討過程に関する報告	沁雲. No.22, 2020.3
2020年3月	佐藤陽子	桑原文庫に見る桑原羊次郎の刀装具研究	沁雲. No.22, 2020.3
2020年3月	佐藤陽子	「御腰物御小道具帳」翻刻（部分）	沁雲. No.22, 2020.3

研修等への参加

年月日（期間）	氏名	名称（会場）
2019年 5月20日	佐藤陽子	オープン・サイテーションと機関リポジトリの展開（京都）
6月 1日～ 7月16日	目次真也	附属図書館初任者研修（附属図書館） ※計10日間
7月 1日～12日	小林奈緒子	大学図書館職員長期研修（筑波大学）
8月 1日～ 2日	横山茉莉	JMLAコア研修（東京）
8月 2日	三村のぞみ	オープンソースカンファレンス2019Kyoto（京都）
9月12日～13日	田中やよい	大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー（九州大学）
9月26日～27日	赤木智香、横山茉莉	図書館等職員著作権実務講習会（京都大学）
9月27日	錦織亜希子	国大図協東海北陸地区助成事業研修会（富山大学）
10月17日	矢田貴史	中国四国地区大学図書館研究集会（広島大学）
10月23日～25日	大久保弘章	中国・四国地区国立大学法人等係長研修（広島大学）
11月12日～14日	三村のぞみ	図書館総合展（東京）

※図書館コンシェルジュの活動にかかる研修等は除く

刊行物

2019年7月	島根大学附属図書館年報2018
2020年3月	島根大学附属図書館報「沁雲」第22号
毎月	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」(Vol. 15, No. 4～Vol. 16, No. 3)
季刊	図書館コンシェルジュ広報誌「LiMe: ライム」(図書館コンシェルジュ編集・発行)

沿革 (抄)

※詳細は図書館HP参照

2003年10月	島根大学と島根医科大学が統合し、附属図書館は本館と医学分館の2館となる
2006年 2月	医学分館にて大森文庫室を改修
2007年 2月	島根県立図書館、松江市立図書館と相互協力協定を締結
2007年 4月	島根大学学術情報リポジトリ「SWAN」公開
2007年 6月	平成19年度国立大学図書館協会賞受賞
2007年11月	島根県立大学出雲キャンパス図書館、出雲市立図書館と相互協力協定を締結
2007年12月	医学分館の耐震改修工事完了
2008年 4月	島根県大学・高等専門学校図書館協議会設立
2008年 5月	全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト始動
2008年10月	デジタル・アーカイブの提供開始
2010年 4月	医学分館を医学図書館と名称変更
2010年10月	本館にて図書館コンシェルジュの活動開始
2013年 2月	本館の耐震・機能改修工事完了
2013年 4月	大学組織の機構化により、学術情報機構の下に附属図書館を再編
2013年 6月	島根県図書館協会設立
2014年 6月	平成26年度国立大学図書館協会賞受賞
2015年 6月	全国遺跡報告総覧の公開（遺跡資料リポジトリを統合移管）
2015年10月	英語版Webページ公開
2016年 4月	機構化の見直しにより、附属図書館単独の組織に再編
2016年11月	しまね地域資料リポジトリGO-GURa公開
2017年 1月	本館にて地域コミュニティラボ開設
2018年 1月	デジタル・アーカイブをリニューアル（IIIFに対応）
2018年 5月	島根大学オープンアクセス方針を公開
2018年 6月	平成30年度国立大学図書館協会賞受賞
2019年 5月	公益財団法人手銭記念館と包括的連携に関する協定を締結

本館 Main Library in Matsue

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089

- 竣工 工：1978(昭和53)年 1月17日
- 増築竣工 工：1984(昭和59)年12月25日
- 耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日
- 構造 造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層
- 面積 積：6,826㎡
- 席数 数：560席



医学図書館 Medical Library in Izumo

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095

- 竣工 工：1979(昭和54)年 3月19日
- 耐震改修：2007(平成19)年12月20日
- 構造 造：鉄筋コンクリート造3階建
- 面積 積：1,819㎡
- 席数 数：267席



SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2019

島根大学附属図書館年報 2019

2020(令和2)年7月発行

発行:島根大学附属図書館 印刷:株式会社谷口印刷